

「胆嚢癌診断例の過去画像解析による前癌病変の抽出のための単施設後向き試験」について

1. 研究の対象

2014年1月～2025年12月までに当院で胆嚢癌と診断された患者さんのうち、診断される3ヶ月以上前の画像結果を有する患者さん

2. 研究目的・方法

胆道癌では解剖学的に組織採取が困難であるために、画像診断が重要な役割を担っています。しかし、初期の胆嚢癌と良性疾患の鑑別は容易ではありません。特に限局性胆嚢壁肥厚が発見された場合、早期の胆嚢癌や胆嚢腺筋腫症、慢性胆嚢炎などの可能性があり、鑑別が困難であることが多いです。

胆嚢癌に発展する可能性のある病変（Precancerous Lesion of Gallbladder Cancer: PLGC）に関しては現在十分な情報はないため、今回胆嚢癌と診断された患者さんの過去画像を検討する遡及的検討を行ないました。この検討を詳細に行なうことで、将来的に胆嚢癌診断の早期発見出来る患者さんが増加できる可能性があります。

研究期間は、病院長許可日から2028年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・性別、年齢、過去画像所見、過去画像から胆嚢癌診断までの期間、胆嚢癌診断時の画像所見・治療経過。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科 住所：静岡県磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一